

憲法要義

合川正道著

25

496

031525-000-1

25-496

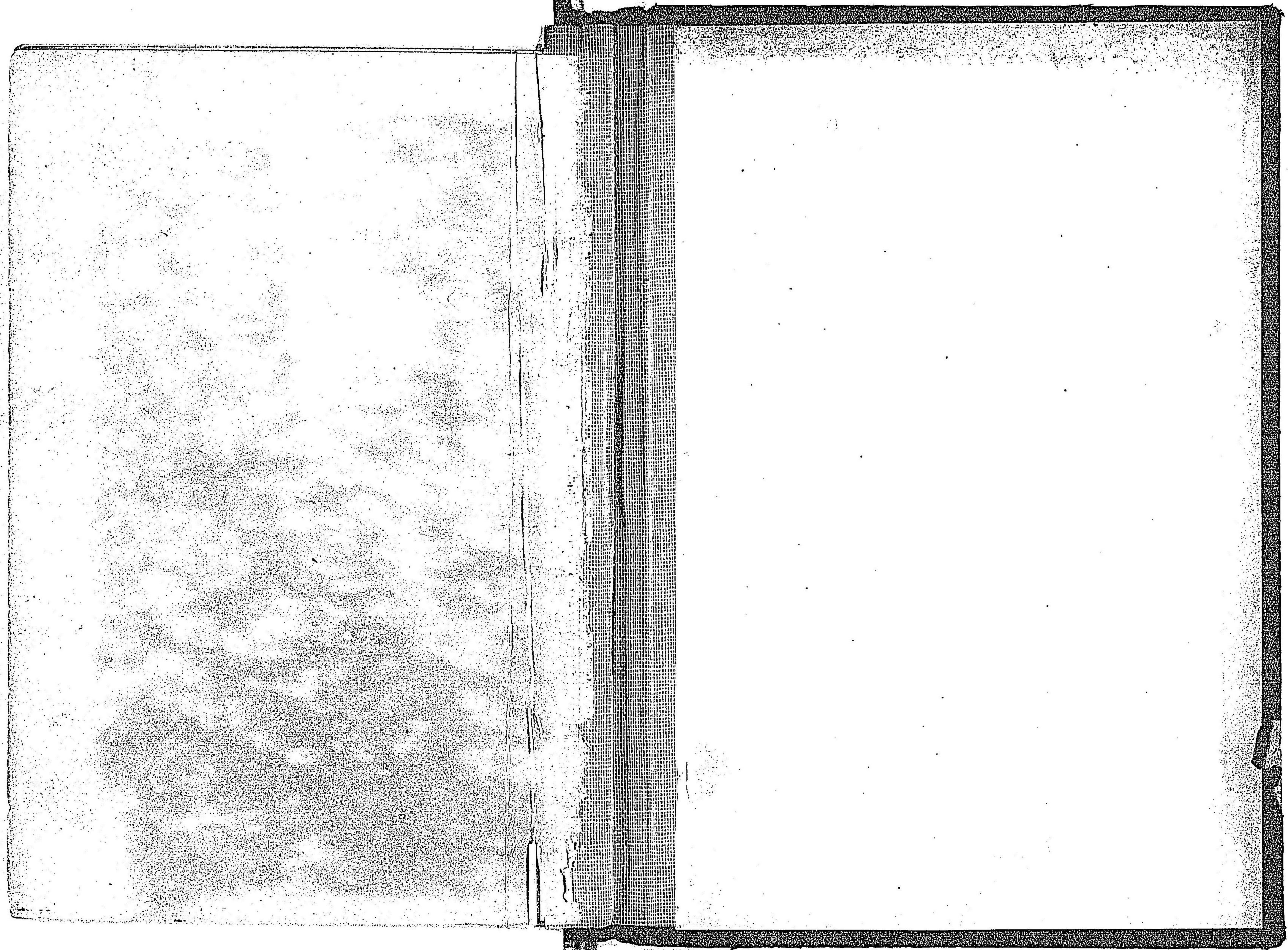
憲法要義

合川 正道 / 著

M21

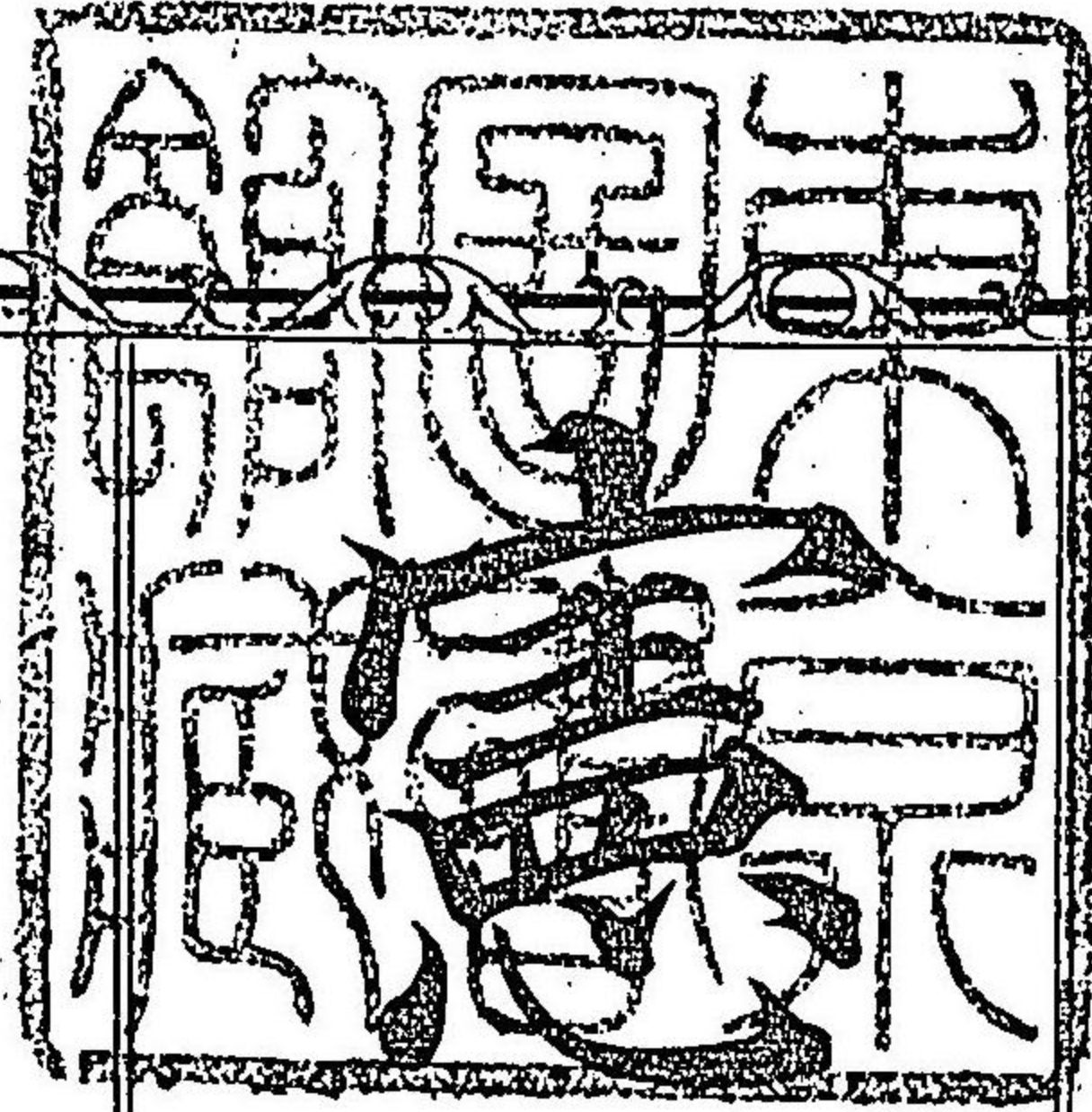
BBE-0125





25-496

No. 338



法學士合川正道著

法要義
完

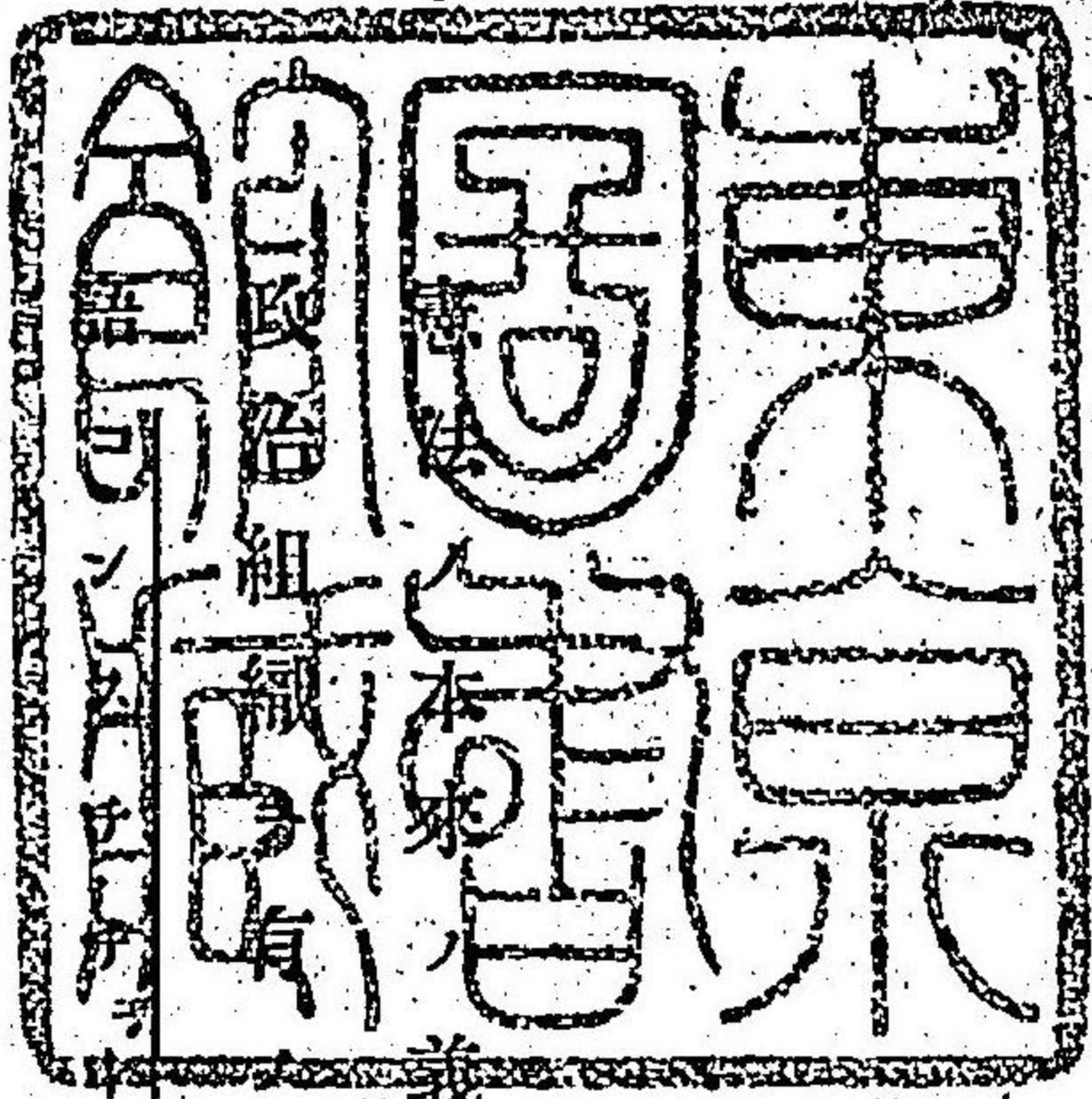
版權所有



*"A people is not free as long as it recognizes
no other forces than those of the government,
no other restraint than that of the written law."*

— *Auguste Laugel.*

憲法要義



ハ政治組織ヲ定ムル法則ナリトス然ルニ
 ル者ハ即チ之ヲ稱シテ國家トス憲法ノ原
 シヨシタルガニツク、ロー建國又ハフォルム、チ
 フ、ガハルメントト釋スルモ此本來ノ義ニ基ツクナリ此
 義ニ由テ之ヲ言フハ地球上何レノ國カ憲法ヲ有セサル
 者アラシキ今日吾人カ政治上ニ使用スル憲法テフ語ハ
 一 此外ニ特別ノ意義ヲ包有ス乃チ國ニ就テ憲法ノ有無ヲ論

三

スル所以ナリ此特別ノ意義ハ後段之ヲ詳説スヘシ之ヲ要
 スルニ政治組織ヲ定ムル法則ナリトノ本來ノ意義ハ固ヨ
 リ何レノ場合ニモ憲法ニ附着スル者ナルカ故ニ特別ノ意
 義ノ何如ニ拘ハラズ先ツ本來ノ意義ヲ明カニスルヲ緊要
 ナラン而シテ之ヲ爲スニハ國家ノ義ヨリシテ開説スルヲ至
 當ノ順序トス
 國家ノ義ヲ説クハ無用ノ如ク思考スル人モアルヘキナレ
 ド其ハ諸般ノ政治思想ノ大本基礎ト爲ル所ノ者ニ付キ明
 確精細ナル見解ヲ有スルノ必要ヲ覺ラサル漠然家ノ妄想
 ト云フヘキナリ抑國家ノ定義ニ付キテハ余未タ其完全ナ
 ル者ヲ見ス蓋シ歐米政治學者ノ今日尙ホ考案ヲ費ス所ナ
 ルヘシホイットン氏ハ其著書萬國公法ノ中ニ羅馬ノ碩學シ

セロノ定義ヲ引用セリ曰ク

國家トハ各自ノ力ヲ協セ以テ相互ノ安寧ヲ保チ幸福ヲ
 勸ムル爲メニ結合セル人衆ノ社會ヲ云フ

此定義ハ簡約ナリト雖モ種々ノ例外ヲ設ケ以テ其意義ヲ
 制限シタル後ニ非レハ國家ノ定義トシ之ヲ採用スル能ハ
 サルノ憾アリ例ヘハ政府ノ許可ヲ得テ組成スル會社ノ如
 キ又海賊山賊ノ集合ノ如キ又水草ヲ逐フテ移轉スル一所
 不住ノ蠻人ノ群ノ如キ皆是レシセロノ定義ニ該當スレ
 之ヲ國家ト稱ス可ラサルヘシ此故ニ該定義ハ必シモ善ナ
 ラサルニ非サレト之ヲ假リテ國家テフ思想ヲ組成スル重
 要ノ元素ヲ開示スル論据ト爲スヲ得ス去レハ翻テ之ヲ他
 三ニ求ムルニ左ニ記載スルエモス氏ノ説最取ルヘキニ似タ

確定ノ土地ヲ占有シ其土地ト政治トノ徳ニ因リ人間ノ形已上及形已下ノ必要事ヲ成シ得ル資力ヲ備ヘ永久ナ期シ組織シタル人類ノ一部分ノ集合體(エモス氏法理學)此定義ハ複雑ノ嫌アリト雖モ重要元素ヲ包括スル點ヨリシテ之ヲ視レハ良定義ト稱スヘシ今之ヲ解剖シテ所謂元素ヲ摘指スルニ第一永久ナ期シタル集合體タルヲ第二協力同作ノ目的ヲ達スル組織存スルヲ第三土地ヲ有スルヲ第四政府ノ存スルヲ第五衣食住等人ノ有形ノ幸福ノミナラス又其道德上ノ幸福ヲ保全スルヲ等是レナリ之ニ加フルニ「人類ノ一部分ノ集合體」ト云フ意ヲ推スルハ他ノ同様に集合體ニ對シ獨立ノ權力ヲ有スルヲ亦是レ國家テフ思

想ノ重要元素タルヲ知ルヘシ此數個ノ重要元素ヲ結合スルキハ粗國家ノ義ヲシテ明確ナラシムルヲ得復タ夫ノ國家ト政府トヲ混同スル如キ失勿カルヘシ之ヲ概スルニ人衆相結合シ土地ヲ占メ政府ヲ建テ以テ獨立ノ一社會ヲ成スルハ之ヲ稱シテ國家ト云ヒ其政府ノ事即チ之ヲ政治組織ト云フ此政治組織ニ關スル法則ハ即チ之ヲ大本ノ法、建國法、又ハ憲法ト稱ス然リ而シテ政府即チ主治者カ國家ヲ代表シ之ヲ經治スルニハ權力ナカル可ラス此權力ハ英語ニテ云ヘハサブレンチー譯シテ云ヘハ主權テフ名稱ヲ有ス今夫レ憲法ハ政治組織ノ法則ナリトス故ニ此主權テフ思想ハ自ラ憲法テフ思想ノ原本ナリトスヘシ既ニ主權ヲ以テ憲法ノ原本ナリトス

六

ルカラニハ國家ノ義ニ次テ主權ノ義ヲ明説スルヲ憲法論ニ於テ缺ク可ラサル務タラン蓋シ單一ノ意義ヲ有スル語辞スラ尙之ヲ會スルヲ易カラサル場合少ナカラス況ヤ主權ノ如キ一語ニシテ區々ノ意義ヲ有スル者ニ於テチヤ抑主權テフ語ハ使用者ニ由テ其義ヲ異ニシ或場合ニ於テハ使用者自己モ説明シ能ハサル空漠タル意義ヲ有シ幾ト無意義ノ語ニ近キヲアリ故ニ其使用セラルル各例ニ就キテ一々其意義ヲ辯スルハ煩ハシキノミナラス殆爲シ能ハサル所ナルヘキカ故ニ今其最著明ナル者ヲ開説シ依テ以テ憲法思想ノ本領タルヘキ真正ノ義ヲ明示セントス

甲種 ホッブス氏及オースチン氏ノ説

乙種 リバー氏ノ説

丙種 ギグー氏ノ説

甲種、ホッブス氏ハ君主專制ノ主義ヲ奉セル人ナルカ故ニ帝王ヲ以テ主權者トシ其專制權ヲ主權トセリチースチン氏ハホッブス氏ノ如ク君主專制ノ場合ニ局セス帝王一人ニ非ズノ二人以上ノ者カ政權ヲ司ル場合ニ向テモ主權者、主權ノ二語ヲ適用セリ然リ而ノ政權ヲ司ル者カ一人ニモセヨ又二人以上ニモセヨ其者ノ實形跡タルニ於テハ其間ニ差異アルヲナシ故ニホッブス、チースチンノ二氏ハ主權テフ語ヲ實形上ニ適用スルノ一點ニ於テハ合同スト云フヘシ乙種、リバー氏ハホッブス氏等ト異ナリテ主權テフ語ヲ虛形上ニ適用シ之ヲ以テ社會全體ノ固有スル權力ヲ指セリ故ニ氏ノ説ニ云ク「主權ハ社會全躰ノ固有スル所ニシテ社

七

會自己ト雖モ之ヲ割讓スル能ハサルモノナリ故ニ人ノ恒言ニ國家ハ其主權ヲ政府ニ割與シ以テ自己ニ代ラシムルト云フカ如キハ眞理上實ニ爲シ能ハサルコトニシテ猶深林カ其鬱蒼タル色ヲ林中ノ一二樹ヲシテ代テ之ヲ帶ハシムルコトヲ吾人カ想像シ能ハサル如シトボメロイ氏カルフ
リン氏等其他米國ノ政治學者ハ多ク此リンバー氏ノ説ニ從フモノ、如シ

丙種、ギヅー氏ハ亦リンバー氏ノ如ク主權ノ語ヲ虛形上ニ使用シ正理ザヤスナスヲ以テ主權者トシ其力ヲ主權トセリ
今右三異義ヲ總評スルニ乙種ノ場合ニ於テハ主權ハ漠然社會全躰ニ在テ存スルカ故ニ此レソ主權ヲ司ル者ナリト指示スヘキ確明ノ人ヲ見ス約言スレハ主權者ノ實形無シ

又丙種ノ場合ニ於テハ正理ノ力ヲ主權ト稱シ其正理ヲ直チニ主權者ト爲スカ故ニ此ニモ亦乙ノ場合ト同シ實形ノ主權者ヲ見ス此故ニ乙丙ノ二義ハ共ニ皆空漠タル虛形上ノ思想ニ止マル者ト云フヘシ但一滴ノ水モ積メハ以テ船ヲ浮フヘシ個々人々ノ集合躰タル社會ナレハ自ラ固有ノ勢力ナクソハ非ス既ニ勢力アラハ則チ之ニ名ヲ附シ主權ト呼フモ敢テ不可ナカルヘシ社會ハ道理的動物ノ集合躰ナリ則チ何レノ時何レノ社會ニカ正理ノ存セサランヤ既ニ正理アレハ之ニ名ヲ附シ有形的ニ形容シテ主權者ト呼ヒ主權ト稱スルモ何ソ其レ不可ナラン夫然リ然リト雖モ此ノ如キ虚空茫漠タル意義ハ以テ實形的ノ憲法思想ノ原本ト爲スヲ得ヘキカ余ハ其不可ナルヲ斷言ス蓋シリ

パー氏カ主權テフ語ニ因テ示ス社會ノ勢力及ヒギヅー氏
 カ該語ニ因テ示ス天下ノ正理ハ皆是レ固ヨリ無ミスヘカ
 ラスシテ敬重スヘキ者ナリ然レモ其實ノ敬重スヘキト云
 フノ故チ以テ其名ノ當否チ顧ミサルハ非ナリ此レニ由リ
 主權テフ語ハ實形上ニ之チ使用シテ始メテ確明ナル意義
 チ表スルモノナリトス例ヘハダイセイ氏ノ「憲法ハ主權ノ
 分配及使用チ支配スル條規ナリ」ト云フ釋義ハ今日學者ノ
 最簡約ナリト稱スル所ナルカ今此釋義ニ從フニ當リ其中
 ニ用ヰラレタル主權テフ語ニリトパー氏又ハギヅー氏ノ
 説チ適用スルキハ只之チ耳ニ聞テ之チ口ニ誦スルチ得ル
 迄ニシテ退テ明確ナル觀念チ我腦裏ニ成立セシメントス
 ルモ適捕風拿影ノ憾チ惹起スルニ過キサルヘシ今夫ノ甲

種ノ定義ハ實形上ニ適用セラレ、カ故ニ其義明確ナリ但
 ホッブス氏ノ如ク主權チ以テ無上無限ノ專制力チ指スルハ
 憲法思想ノ原本ト爲スチ得サルヘシ何トナレハ其權已ニ
 無上無限ナルキハ條規チ以テ之チ制限スル能ハサレハナ
 リ換言シテ云ヘハ無上無限ノ專制力ト憲法トハ並立共存
 スル能ハサルモノナリ此故ニ縱令實形上ニ主權テフ語チ
 使用スルモ之チシテ純乎無限ノ意味チ含有セシムルコホッ
 プス氏ノ如クナルキハ亦以テ憲法思想ノ原本トナスニ足
 ラサルナリ蓋シ主權ハ元來純乎無限ノ權力例ヘハ上帝ノ
 全能力ノ如キ者チ指スヘキ語ナレモ之チ今日政治上ニ使
 用スルニ當リテハ必シモ右元來ノ意味チ含有セシムルチ
 要セス否之チ要セサルノミナラス憲法思想ノ原本ト爲ス

ニハ必ス元來ノ意味ヲ離脱スルヲ要ス一層之ヲ細説スレ
 ハ主權ハ憲法上ニ於テハ實形的ノ政府ニ適用セラレ其政
 府ノ權力即政權ノ別名ニシテ壯大ノ權ナリト雖モ純乎タ
 ル無限ノ權ヲラサルナリ此義ニ由ルキハ主權ハ英語ニテ
 所謂スープリム、ポリチカル、チーソリチート同一ノ者ナ
 リトス此英語ハ今爰ニ譯シテ最上政權ト云フ英國法曹ナ
 ースチン氏ノ説ニ從ヒ之ヲ釋スレハ左ノ如シ

一政治社會ニ於テ一人又ハ二人以上ノ人カ常ニ其大數
 民人ノ爲メニ服從セラル、キハ之ヲ最上政權者ト謂ヒ
 其權ヲ最上政權ト謂フ（チーソチン
 法理學）
 エモス氏亦最上政權ノ性質ヲ説明シ得テ盡クセリ其言ニ
 云ク「何レノ國ニテモ衆人ノ行爲ヲ管制スル壯大ノ權力ナ

占ムル者ナクンハ非ス此「サブレン」即チ「スープリム、ポリチ
 カル、チーソリチー」（主權者即チ
 最上政權者）カ縱令最高度ノ專制力ヲ有ス
 ル場合ニテモ尙且ツ民衆ノ間ニ流行スル公議輿情ノ爲メ
 ニ制限セラル、者ナリ故ニ主權者ハ此制限内ニ於テ最上
 ノ政權力ヲ有スルニ過キスト由是視之ハ最上政權ハ純乎
 無上無限ノ權ヲラサルヲ並ニ其所有者モ社會又ハ正理ナ
 トノ如キ虚形ノ者ニ非スシテ實形ノ者タルヲ知ルヘシ
 スクアリテコソ始メテ主權ヲ分配シ其使用ヲ節制スル等
 ノ思想モ成立ツヲ得ルナレ此故ニ憲法上ニ於テハ主權ヲ
 解スルニ右説明セル最上政權ノ義ヲ以テシ他ニ漠然タル
 義ヲ加フ可ラサルナリ夫レ何事ヲ問ハス凡ソ吾人ノ思想
 ヲ表スヘキ適切ノ語辭ヲ選ム程謹慎ヲ要スル者ハアラシ

殊ニ政治上ニ於テハ吾人ノ使用スル語辭ノ意義ヲ明確ナ
 ラシムルヲ要ス彼ノ水泡ト一般ナル空漠タル語辭ニ惑迷
 セルカ爲メニ無用ノ爭難紛議ヲ醸セルコト古今其例少ナカ
 ラス假設ハ嘗ニ今ノ所謂自由主義ヲ唱フル人ニ向テ其口
 ニ唱ヘ書ニ筆スル自由テフ語ハ何カナル意義ヲ有スルソ
 問ハ、之ニ對シ明確ナル説明ヲ與フル者果シテ幾千カ
 アル蓋シ之ヲ内其心ニ會スルモ之ヲ外其辭ニ述ヘ得サル
 者モ之レアラシ去レト此ノ如キ者ハ尙千人中ノ一人ニシ
 テ餘ノ九百九十九人ハ恐ラクハ皆心中無一物本來空ノ輩
 ナルヘシ嗚呼古今社會ニ於テ空理空論ノ爲メニ動モスレ
 ハ紛擾爭亂ノ患害ヲ起ス者ハ彼レ本來空者流毎ニ其重要
 ノ原因ヲラサルハナシ夫然リ故ニ空理迂説ヲ排シ實理正

此の句は
 由りて
 此れは
 此れは
 此れは
 此れは
 此れは
 此れは
 此れは
 此れは
 此れは

説ヲシテ勝ヲ制セシムルヲ願ハ、宜シク明確ナル意義ヲ
 以テ語辭ヲ使用スルコトヲ勉ムヘシ昔シ英國人カ北米合衆
 國ノ獨立ヲ唱フルニ際シ之ヲ肯セス無用ノ干戈ヲ動カシ
 財ト兵トヲ徒費シ長ク同胞ノ情義ヲ失フニ至レルハ夫ソ
 「本國ノ主權」又ハ「殖民地賦税ノ權」等ノ如キ空意義ノ語辭ニ
 迷醉セル者ノ多カリシコト是レ其重要ナル理由ノ一ナリト
 云フ讀者若シ史ヲ繙テ搜索セハ同種類ノ例ヲ發見スルコ
 易々タルヘキナリ右ハ稍贅言ニ似タレトモ主權ノ義ヲ指示
 セル因ニ聊一言ヲ添ヘ以テ世人ノ注意ヲ促セルノミ以上
 開説スル所ヨリシテ主權ノ義モ粗明カナルヘキカ故ニ之
 ヨリ進ンテ憲法ノ職分ヨリ立憲政治ノ主旨ニ説キ及ホス
 ヘシ

夫レ國家アレハ則チ之ヲ代表シテ政權(即主權)ヲ掌ル政治機關アリ此機關ハ個人ノ權利ヲ建設保護スル法律ヲ制定シ國家ノ秩序安寧ヲ維持シ其獨立ヲ持張シ其他諸般ノ政務ヲ措辨スル者ヨリシテ成立ス此政治機關ノ組織ノ軀裁ヲ政體ト謂フ、單純政體、複雜政體ナドト名稱ニ區別アルモ畢竟政治機關ノ組織カ君主專治ノ如ク單純ナルト君民共治ノ如ク複雜ナルトニ因由ス、政體ノ名稱ハ姑措キ向キニ述ヘタル憲法本來ノ義ニ依レハ其名稱ノ何如ニ拘ハラズ凡ソ政體ヲ定ムル法則ハ之ヲ憲法ト謂フヘシ則チ此義ニ從フキハ天下何レノ國カ憲法ヲ有セザラン蓋シ今日吾人カ使用スル憲法テフ語ハ其義此ニ止マラス余カ最初點出シ置ケル特別ノ意義ヲ含ムモノナリ其ヲ果シテ何ソト云

ヘハ左ノ二大要義トス

- 一 政權ノ使用方法ヲ明定シ其妄用ヲ防禦スルコト
- 二 被治者ノ主治者ニ對スル權利ヲ確明ニシ之ヲ保全スルコト

約言スレハ政權ヲ節シ民人ノ權利ヲ明カニスルコト是レ憲法ノ職分ナリトス今平易ニ其主義ヲ解ケハ故小野梓氏カ國憲汎論ノ中ニ云ヘル如ク「憲法ハ主治者被治者ノ關係ヲ正シ官民ノ分限ヲ定メ官人ノ職權民人ノ權利ヲ示スモノナリ」(アーレンス氏曰憲法トハ政府及國民ノ行為ヲ規定スル至要ノ制度法律ノ總名ナリ。アビエー法律字典ニ云ク憲法ハ自由國ノ組織ヲ定メ國民ノ權利義務ヲ定ムル至要ノ法律ナリ。アビエー學藝字林ニ云ク憲法ハ政體ヲ定メ國民ノ權利ヲ定ムル大本ノ法律ナリ。此等ノ定義各其言異ナレモ其極意ハ一ニ歸ス小野氏ノ形容平易ニシテ)之ヲ提要スルニ「被治者ノ主治者ニ對スル權利」ト云フコト現今ノ憲法思想ノ基礎ナリトス

エモス氏政治學(第二)ニ云ク「憲治テフ語ノ意義ハ近世ニ發
 生セル者ナリ今其起源ノ時代ヲ確言スルハ難事タルノミ
 ナラス格別ノ益ナカルヘシ要スルニ今ノ憲法思想ハ英國
 ノ帝室ト人民トノ間ノ争ニ起因スト云フヘシ」蓋シ英國ニ
 テハ主治者被治者ノ權利ハ交互相關スルモノナリトシ主
 義早クヨリシテ其社會ニ認識セラレ此主義ニ基ツケル主
 治者被治者ノ關係ヲ定ムル法則ヲ憲法ト呼ビ此關係ニ依
 從スル所ノ事ヲ憲法ニ合フト謂ヒ之ニ依從セサル所ノ事
 ナ憲法ニ背クト謂フ云々」此餘諸家ノ説ヲ按スルニ其要旨
 皆前述セル二大要義ニ歸宿セサルナシ去レト今一二ノ例
 ナ引テ之ヲ彰明スルニウールセル氏政治學(卷ノ)ニ云ク「近
 世ニ於テハ歐米諸國多ク立憲政體ヲ建設スルニ至レリ今

其立憲即チ憲法ノ本義ヲ按スレハ政體ヲ定ムル法則ノ紙
 上ニ明記セラレ、者又ハ紙上ニ明記セラレサル者ヲ指ス
 此義ニ由レハ專制ノ國モ民主ノ國モ均シク憲法ヲ有スル
 ナ得ヘシ然リ而ツ今時立憲政體ノ起レル在様ヲ觀察スル
 ニ君主又ハ其宰相ノ專横ヲ防キ自由民ノ權利ヲ確定シ以
 テ政治ノ鞏固ヲ庶幾セントノ情願志望カ實ニ憲法制定ノ
 源因タリキ故ニ佛國ノ革命爾來續々起レル立憲ノ政體ハ
 皆民人ノ自由權利ヲ設定スルチ主眼トセリ而ツ又君主ノ
 安固ヲ保全スル爲メニ宰相責任ノ法ヲ置ケリ云々」
 又タロツシ氏ノ憲法講義(卷ノ)ニ云ク「人間ノ自由テフ事ノ
 曾テ歐洲全土ニ其痕跡ヲ失フヤ何レノ社會ニテモ寡人政
 治ノ弊害ヲ視ル至ル處トシテ然ラサルハナカリシカ社會

ノ氣運一變シ人皆起テ夫ノ所謂憲法ヲ設定セシテ唱ヘ
 社會上及政治上ノ組織ヲ改革シ以テ個人ノ自由權利ヲ鞏
 固ナラシメシコトヲ冀求スルニ至レリ而シテ此冀望ヲ達ス
 ルニハ官民ノ分限ヲ定ムル所ノ事ヲ成文法トナシ以テ其
 明確ヲ期ス此レ即チ所謂憲法ナリ此意ニ因テコソ吾人ハ
 某國ハ憲法ヲ有シ某國ハ憲法ヲ有セスト區別スルヲナレ
 蓋シ某國ハ憲法ヲ有スト云フトキハ其國ニハ專制政治ノ
 支配止ミ自由保全ノ道確立スト云フ事實ヲ表スルモノナ
 リ
 右引證セル所ヨリシテモ政權ノ使用ヲ節シ民人ノ權利ヲ
 明カニスルトノ二大要義ハ憲法ノ職分ノ中心骨髓タルヤ
 知ルヘキナリ此二大要義ヲ目的ト爲ス者ニシテ始メテ之

ヲ眞ノ憲法ト稱スヘシ此眞ノ憲法ヲ基本ト爲ス者ニシテ
 始メテ之ヲ眞ノ立憲政體ト稱スヘシ此眞ノ立憲政體ヲ有
 スル者ニシテ始メテ之ヲ眞ノ文明國ト稱スヘシ夫ノ君主
 專治ノ如キ單純政體ニ立憲ノ二字ヲ蒙ラスルヲ得サルハ
 二大要義明立セサレハナリ然ルニ複雜政體テフ語カ立憲
 政體テフ語ト互用セラレ、モ畢竟、複雜政體ニ於テハ政權
 節制、民權保全ノ道明立スレハナリ又均シク是レ帝國ナリ
 ト雖モ清國ヲ指シテ專制帝國(アブソリュート、モナルキー)ト云
 ヒ、英國ヲ指シテ立憲帝國(コンスタチューショナル、モナルキー)
 ト云ヒ其稱謂ヲ異ニスル所以ハ二大要義ヲ明立スル法則
 ノ存スルト否トニ由ルノミ此奧義ヲ極言スレハ被治者カ
 主治者ニ對スル權利テフ思想即チ民權テフ思想ノ有無ノ

一點ニ歸宿ス憲法ノ奧義既ニ此ノ如シ故ニ假令政治機關ノ構成及其職務章程ヲ紙上ニ明記スルモ未ダ之ヲ以テ眞ノ憲法ト做ス可ラス未タ其政躰ヲ立憲政躰ト做ス可ラス今一層之ヲ切言スレハ假令其形ハ現今ノ所謂憲法ナリモ其實ニ於テ專制ノ主義ヲ藏セン乎是レ單ニ有名無實ノ紙上ノ空憲法ナリ此ノ如キ憲法ハ恰モ全然信用ヲ缺乏セル紙幣ト一般ナリ先哲曰有其政無其心是謂徒法ト徒法不能自行ナリ然ラハ則チ金科玉條モ亦其レ何ノ用チカ爲サン今日政治學者カ國會ノ制度ヲ以テ立憲政躰ノ中心トシ二者相須テ離ル可ラサル者ナリトナスモ畢竟民人ニ議政權アリテ國會ノ制存スルニ非レハ前述セル二大要義ヲ明立シ之ヲ實行スルニ由ナケレハナリ夫レ其何タルヲ問ハス

權力ヲ抑フル所ノ者ハ亦惟レ一個ノ權力ナラサル可ラズ今夫ノ主治者ノ權力即チ政權ヲ節制シ以テ之ヲシテ虐政ノ邪徑ヲ離レ善政ノ正徑ニ向ハシムル者ハ亦是レ一ノ權力ナリ而シテ其權力ハ果シテ何者トヤト問ヘハ輿論公議ニ由テ現ハル、社會ノ權力ニ外ナラサルナリ此權力ハ何レノ社會ニモ存在スル者ナレト立憲政躰ヲ有セサル社會ニ於テハ實際政權ヲ支配スルヲ明確ナラサルナリ蓋シ未ダ其作用ヲ致スノ便宜ヲ得ス謂ハ、躰形ヲ有セサルニ職由ス今國會ハ民人ノ意志ヲ代表シ社會ノ權力カ依テ以テ政權ノ上ニ作用ヲ現スル所ノ機關ト爲ル者ナリ是レ即チ國會制度ノ立憲政躰ニ相伴フ所以ナリ爰ニ著明ノ實例ヲ借リテ上言スル所ヲ彰明スルニ英國ニ於テハ身躰ノ自由ヲ

保護スル至貴至重ノ法典アリテ之ヲ人身保護律ト云フ（英語）
 ヘビヤス、コルマス、アクト云フ（査爾第二世ノ第三十一年）英國ノ人民カ
 並ニ日耳爾第三世ノ第五十六年ニ制定セルニ條例ナリ）
 猥ニ拘禁ノ苦ヲ受ケサルハ實ニ此法典ト囚人携出令狀ノ
 法ノ存スルニ由ル然ルニ國家騷然トシテ叛亂ノ兆アル非
 常ノ時ニ當リテハ一時人身保護律ノ停止條例ヲ發シ以テ
 政府ヲシテ自在ニ國事犯ノ嫌疑者等ヲ捕縛囚禁スルヲ得
 セシム是レ固コ已ムヲ得スシテ國安ノ爲メニ個人ノ身軀
 安固ノ權ノ幾分ヲ犧牲ニ供スル政略上ノ處分トス人身保
 護律存スルキハ犯罪ノ嫌疑ヲ以テ囚禁サル、者ハ直チニ
 囚人携出令狀ヲ請求シ之ニ因テ保釋ヲ許サル、カ又ハ速
 ニ審判サル、ヲ得然ルニ人身保護律停止中ハ政府ハ版
 逆罪ノ嫌疑者ニ限り右囚人携出令狀ヲ請求スルヲ得サ

ラシム故ニ政府カ停止條例ニ依テ得ル權力ハ頗廣大ニシ
 テ個人身體安固ノ權ニ向テハ實ニ恐ルヘキ凶機ナリ去レ
 ト政府ヲシテ其權力ヲ使用スルニ際シ小心翼翼自ラ警戒
 シ民人ノ權利ヲ侵害スル區域ノ狭小ナラントヲ務メシム
 ル重要ノ事情ニアリ一ハ停止條例ノ効力ハ一年ヲ限トス
 ルト二ハ停止條例滿限ノ際インデムニチー、アクト（免責條
 例ノ發條）
 ノ制定ヲ要スルト是レナリ停止條例ノ効力ハ一年ヲ以テ
 竭ルモノト爲スカ故ニ政府ハ右ノ必要存スル間ハ毎年之
 チ國會ノ議ニ附シ其議定ヲ仰カサル可ラス又停止條例施
 行中ニハ諸ノ當該官吏カ國事犯豫防ニ從事スル際苛刻嚴
 密ニ流ル、ハ勢禁スル能ハサル所トス彼輩既ニ苛刻嚴密
 ニ流ル、以上ハ其施ス所ノ措置ニ於テ停止條例ノ範圍ヲ

出テ其保護ヲ受クル能ハサル者多カルヘシ今停止條例ノ
 効力竭クルノ日諸官吏ハ其不當ノ措置ニ付キ一々之カ責
 ニ任セサル可ラスト爲スキハ政府ハ殆立ツ所ヲ失フニ至
 ルノ憂アラシク此故ニ停止條例ノ効力竭クルト同時ニ政府
 ハ其成存中ノ措置ニ對シ責任ヲ免カル、爲メニ免責條例
 ノ制定ヲ國會ニ要求スルヲ例トス然ルニ此免責條例ハ勿
 論必要ノ存スル間年々停止條例ノ繼續ヲ國會ニ要求スル
 ニモ政府ハ終始國會ノ歡心ヲ保持セサル可ラスト否ナレハ
 國家不穩ノ際ニ權誼ノ策ヲ施シテ其安寧ヲ維持スルヲ得
 ス又國家靜穩ニ歸スルノ後モ自ラ其身ヲ護ルヲ得サルヘ
 シ此故ニ政府ハ始終小心翼翼唯其權ノ濫使ヲ惟レ謹ミ專
 ラ民心ヲ損セサランコトヲ務ムルナリ此一例ヤ以テ國會ノ

制度ノ政權節制ニ必須タル所以ヲ示スニ足ラン今嘗ミニ
 翻テ專制政府ノ權ヲ觀察セヨ國家靜穩無事ノ日ニ於テモ
 尙且英國政府カ不穩有事ノ秋ニ有スル所ニ數倍ス況ヤ其
 不穩ノ時ニ於テヤ其權力ニ際限ナク平日ハ多少其形ヲ
 見ル個人ノ權利保護ノ機關ハ全然其運動ヲ止メ人々ヲシ
 テ爐上ノ薪風前ノ燈タルノ感覺ヲ抱カシム嗚呼億兆ノ生
 靈誰カ其權利ノ鞏固ヲ冀ハサラン則チ何レノ時何レノ社
 會ニカ政權ノ妄用ヲ禁制セシコトヲ欲スル民情ナカラシヤ
 此民情コソ即チ社會權力ノ本躰タル者ナレ然ルニ彼英國
 ノ如クナラスシテ政權妄用ヲ禁制スル能ハサル者アルハ
 何ソヤ曰ク只輿論公議カ政權ノ上ニ其作用ヲ現スルノ道
 ヲ得サルニ由ルノミ由是視之ハ民人ノ意志ヲ代表スヘキ

國會制度ノ立權政躰ニ必須缺ク可ラスシテ而ノ民人ノ參政權實ニ憲法テフ思想ノ中心タルヤ明カナリ
 今又他ノ一方ヨリシテ之ヲ論スレハ立憲ノ主義ハ獨被治者ノ安全ヲ保スルノミナラス又主治者ノ安全ヲ致スモノナリ國家上下ノ安寧ヲ保チ政府ノ基礎ヲシテ永久ナラシムル者ハ實ニ立憲政躰ナリ抑立憲政躰ノ主効ハ政權ト社會力トヲ交通接著セシメ主治者被治者ノ關係ヲシテ和易圓滑ナラシムルニ在テ存ス所謂上下情相通スルノ義即チ是レナリ古今治亂成衰ノ跡ヲ觀察セヨ上下情相通スレハ國必ス治リ上下情相通セサレハ國必ス亂ルコト恰古今ノ定則タラスヤ前述スル如ク何レノ國ニモ民人ノ意志ヲ以テ本躰トスル社會力存在セサルハナシ去レト其作用ノ道ノ

立タサル社會ニ於テハ常ニ政權ヲ支配スル能ハス空シク過激ノ徒粗暴ノ輩ノ弄スル所トナリ虐政極點ニ達スルニ及ヒ遂ニ破裂シテ大亂ヲ惹起シ政府ヲ顛覆シ社會ノ秩序ヲ敗壞スルニ終ル之ヲ譬フレハ平素疏通ヲ得サル積水ノ一朝潰逸奔流シテ堤塘ヲ流失スルカ如シ民情疏通セサル社會ノ政府ハ平素其權力ノ盛強ナルニモ拘ハラス其基礎ノ脆弱ナルコト何ソ夫ノ堤塘ニ異ナランヤ書ニ所謂懷平若朽索之馭六馬トノ言ハ假リテ以テ右ノ如キ政府ヲ形容スヘシ嗚呼民人ノ意志代表ノ道立タス社會力躰形ヲ有セスシテ暗冥裏ニ隱伏鬱積スル社會ノ專制政府程危險ナル者ハアラシミル氏曰ク「專制君主ハ自己ノ外ニ忠臣ヲ有セス」ト此ノ謂ナリ若シ夫レ社會力ヲシテ常ニ其作用ヲ現セシ

ムルキハ能ク政權ノ妄用ヲ防キ能ク上下ヲシテ和合セシムヘキナリ、政權妄用ニ流レテ上下和合セハ革命ノ亂何ニ由テ發スルヲ得ヘキ政府顛覆ノ事何ニ由リテ起ルヲ得ヘキ水路常ニ疏通セハ何ソ又潰逸ノ虞アラシヤ且夫レ政權ニシテ常ニ社會力ノ作用ニ感接スルキハ政府ハ專横ニ流ル、ノ弊ヲ避クルノミナラス又却テ己ノ強盛ヲ致スノ基タルヘシ蓋シ輿論ノ與ミスル所ノ事ハ力ヲ用ユル少フシテ成ルヲ易ク成レハ則其功政府ニ歸シ不幸ニシテ敗ルレハ社會モ亦其咎ヲ共ニスヘキカ故ニ政府ノ威權ヲ傷クルヲ自ラ淺少タルヘシ此狀態ノ極ヲ言ヘハ管子ノ所謂以民治民以國守國ノ至境ニ至ルヲ得ン此至境ニ於テハ政府復タ兵力ニ依テ其威權ヲ保タサルナリ政府兵力ニ依頼セサ

特ニ政權ノ
力ヲ用ユル
少クシテ

天下ハ
天子ノ
天下ニ

ルキハ其基礎磐石ノ如クナラサルヲ欲スルモ得ヘカヲサ
ルヘシ故ニ曰立憲ノ主義ハ被治者ノ安全ノミナラス又主
治者ノ安全ヲ保スルモノナリト人若シ余カ言ヲ疑ハ、去
テ英國現今ノ政況ヲ視ヨ夫ノ皇帝ハ神聖犯ス可ラストノ
格言カ確乎不拔ノ原則ト成リ今日ノ帝室カ尊榮安寧ノ極
ニ立ツハ果シテ何ニ由ルトカスル執政大臣カ斧鉞ノ畏ナ
ク泰然天下ノ重ニ任スルヲ得ルハ果シテ何ニ由ルトカス
ル議院ノ大權ニシテ專制防禦ノ重要具タル彈劾ノ事ノ近
代ニ其跡稀ナルハ果シテ何ニ由ルトカスル下院カ古來其
獨立ノ基礎トスル國費供給停止ノ權ヲ實行セシ例ノ近代
ノ政史ニ其跡ヲ絶チタルハ果シテ何ニ由ルトカスル若シ
英人ノ語ヲ借リテ一言ノ下ニ之ヲ説明セン乎是レ下院ノ

權力ノ發達ニ由ルトヤ云ハソ又余カ前述セル所ニ從テ之ヲ説明セン乎是レ社會力ノ政權ノ上ニ現スル作用其宜ヲ得ル結果ナリト云フヘキナリ英國ニ立憲政體ノ發達セル起因タリシ往日ノ官民相爭ヘルノ事情ヲ見テ立憲政體ハ官民權限ノ爭ヲ以テ其性質トナスモノ、如ク速了スル皮相者モ世ニハ往々之レアレ其政治ノ實況ヲ觀察スル者ハ英國ノ立憲政體ハ其初ニ於テハ實ニ官民爭權ノ醜態アリシト雖其發達セル今ニ於テハ上下和融ノ美ヲ呈スルヲチ認識スヘキナリ其原因ノ往日ニ醜ナリシノ故ヲ以テ其結果ノ今日ニ美ナルヲ掩フ可ラス立憲政體ノ眞義ハ之ヲ其起因ニ求メスシテ宜シク之ヲ其結果ニ求ムヘキモノナリ英國ニ於テ官民爭權ノ具タル彈劾ノ權國費供給停止

ノ權、法案擯斥ノ帝權等ノ皆空シク法典ニ存スルノミニシテ實際ニ於テ行ハル、一ノ稀ナルハ社會力、政權二者ノ合體スルニ職由ス、噫立憲ノ主旨此ニ於テ達セリト云フヘシ宜ナル哉英人カ自ラ其政治ノ美ニ誇ルヤ余謂フ英國政治ノ實相ヲ觀察セハ立憲ノ主旨憲法ノ大義ハ他ニ之ヲ求メスノ瞭然タラソ回顧スレハ我邦ニ於テ今チ距ル二十年維新ノ始一片ノ聖詔以テ夙ニ立憲ノ主義ヲ明定公示セラレタルハ(戊辰五箇條ノ御誓文)誠ニ古今万国ニ比類ナキ盛事ニシテ我國民ノ大幸ト稱スヘキナリ余竊ニ惟ミルニ立憲ノ政體ヲ建テ國會ヲ開設スルノ事ハ固ヨリ非常ノ事業タリト雖モ(明治十四年十月十二日ノ勅諭中ニ云願ミルニ立國ノ體其立憲ノ主義ニ國各宜キヲ殊ニス非常ノ事業實ニ輕舉ニ便ナラス云々)於テハ未ダ必シモ之ヲ非常ナリト謂フヘカラス抑東洋社

四三

會ニ於テ古來帝者ノ本法、爲政ノ大道トセル所ヲ約言スレハ順民心ノ三字ニ歸宿ス此主義ハ万世不易ノ格言ト尊崇セラル、所ニシテ其社會ニ認識セラル、ヤ久シ顧ミルニ只此主義ヲ實行スル良方ヲ得サリシノミ夫ノ立憲政躰ヲ建テ國會ヲ開設スルノ事ハ即チ千載我社會ニ傳ハル右三字ノ主義ヲ實行スル方法タルニ過キサルナリ故ニ吾人カ西人ニ學フ所ノ者ハ唯其方法ノミ其主義ノ如キハ固ヨリ吾カ有スル所ナリ我レ古ヨリ其主義ヲ有スルモ其方法ニ於テ彼ニ後レタレハコソ今日マテ專制政治ノ名ヲ免カレサルナレ孟軻ヲシテ再生セシメハ之ヲ評シテ仁心仁聞有リテ而ノ民其澤ヲ被ムラサルハ立憲ノ政ヲ行ハサレハナリトヤ云ハン蓋シ立憲政躰ヲ建設スルハ我東洋社會ニ於

手シテ也
ルニシテ也
ニモモ、
西人ニシテ
シテハリトヤ

五三

テ古來帝王ノ夢想セル仁政ヲ實施スルノ秘訣ト云フヘシ此故ニ其事固ヨリ非常ノ業ナリト雖モ之カ爲メニ疑惑畏懼スルヲ要セサルナリ事ヲ假リテ之ヲ説クニ假例ハ夫ノ國會カ執政大臣ヲ彈劾スル權ノ如キハ立憲ノ真旨ニ通セサル者ノ必ヤ疑懼シテ非難スル所ナルヘシ去レト此輩ニシテ一度立憲ノ真旨ヲ會得セハ彈劾ノ制ヲ設クルハ即チ彈劾ノ事ヲ生セサラシムル本源タル所以ヲ悟リ忽チ疑懼ノ妄念ヲ消散スヘシ韓非子曰疑事無功ト事ヲ成スノ障礙ハ疑ヨリ甚シキハナシ而シテ其疑ハ事ノ真旨ニ曉通セサルニ職由セスンハ非ス是レ余カ兒女子モ憲法テフ語ヲ口ニ誦スル今日ニ於テ尙ホ其義理ヲ縷述シ蛇足ノ譏ヲ顧ミサル所以ナリ蓋シ憲法ノ要義ニ通セサレハ縱令博ク諸邦ノ

憲法ヲ比較講究スルモ事ニ於テ益少ナカラン若シ夫レ之
 カ要義ニ通セハ憲法上諸般ノ問題ニ接シ無用ノ疑惑無益
 ノ論辯ヲ省クノ利アルハ余カ信スル所ナリ（蘇軾上神宗書ニ云、
 人臣恃陛下之命、故能役使小民、恃陛下之法、故能勝伏強暴、至於人主所恃者誰歟、
 書曰、予臨兆民、懷乎若朽索之馭六馬、言天下莫危於人主也、聚則爲君、散則爲仇、
 譬衆散之間不容毫釐、故天下歸往謂之王、人各有心、謂之獨夫、由是觀之、人主之所
 恃者、人心而已、人心之於人主也、如木之有根、木無根則槁、人主失人心則亡、此必然
 之理也、（中略）宋襄公雖行仁義、失衆而亡、田常雖不義、得衆而強、是故君子未論行事
 之是非、先觀衆心之向背、謝安之用諸桓、未必是、而衆之所樂、則國以父安、庾亮之召
 蘇峻、未必非、而勢有不可、則反爲危辱、自古及今、未有和易同衆而無道、得衆而
 不危者也、（下略）書曰、天視自我民視、天聽自我民聽、孟子曰、得天下有道、得其民斯得
 天下矣、得其民有道、得其心斯得其民矣、得其心有道、所欲與之聚之、所惡勿施爾也、管
 子曰、政之所興在順民心、政之所廢在逆民心、陸贄曰、立國之本在乎得衆、得衆之要
 在乎見情、孔子曰、人情聖王之田、韓非子曰、能用天下謂之王、

憲法ハ政治組織ヲ定ムル大本法ニシテ政權節制民權保全
 ナ以テ其主旨トナス故ニ尋常普通ノ法律ト大ニ其質ヲ異
 ニスルコト多言ヲ須クナスシテ諸人ノ認識スル所ナルヘシ去

レト既ニ之ヲ法ト稱スル以上ハ其法學上ニ於テ有スル地
 位ハ何如ナルヤチ明カニスルコト要用ナラン左レハ之ヲ法
 學上ニ就テ言フキハ憲法ハ夫ノ公法ノ部門ニ屬スルモノ
 ナリ抑一國ノ法律ヲ大別シテ公法私法ノ二門ト爲スハ法
 律ノ支配ヲ受クル者（即チ權利義務ノ關係者）ノ資格ニ公ト私トノ二種ア
 ルニ基ツクモノトス故ニ法律ノ支配ヲ受クル者ノ中其一
 方カ公ノ資格ヲ有スルキハ其法律ヲ公法ト稱シ其双方カ
 私ノ資格ヲ有スルキハ其法律ヲ私法ト稱ス今ヤ憲法ノ下
 ニ立チ權利義務ノ關係ヲ有スル者ノ一方ハ公ノ資格ヲ有
 スル主治者即チ政府ナリ是レ其公法ノ門ニ屬シ刑法治罪
 法行政法等ト伍スル所以ナリ、今法理上ヨリ嚴正ニ之ヲ論
 スルキハ公法私法ノ中純粹ハ法律ト稱シ得ヘキ者ハ私法

ニシテ憲法ノ如キ公法ノ門ニ屬スル者ハ純粹ノ法律ト稱スヘカラス蓋シ公法ハ私法ノ如ク純粹ノ法律ニ必要ナル元素ヲ完具セサルナリ今之ヲ畧説スルニ法律ノ神髓トモ云フヘキ者ハ所謂制裁是レナリ人間萬般ノ行事ヲ支配スル條規ニシテ明確ナル制裁ヲ有スル者之ヲ法律ト謂フ然ルニ明確ナル制裁ハ確定ナル主宰者ヲ須テ始メテ成立ス故ニ純粹ノ法律ヲ想像スルニハ關係者双方及ヒ主宰者ノ三者ヲ想像セサル可ラス而シテ此三者ハ各別ナルヲ要ス假設ハ爰ニ貸借ノ法律アリトセシニ其法律ノ支配ヲ受ケル一方ノ債主カ主宰者ト爲ルモ亦他ノ一方ノ負債主カ主宰者ト爲ルモ共ニ其不可ナルヤ一目瞭然タルヘシ故ニ條規ニシテ別ニ主宰者ヲ有セサル者ハ純粹ノ法律ト稱スルヲ

得ス夫ノ私法ノ場合ニ於テハ其支配ヲ受ケル關係者ハ双方共ニ私ノ資格ヲ有シ公ノ資格ヲ有スル所ノ第三者タル政府ガ其制裁ヲ司ルカ故ニ之ヲ純粹ノ法律トス然リ而シテ公法ノ場合ニ於テハ其支配ヲ受ケル關係者ノ一方ハ公ノ資格ヲ有スル政府ニシテ其政府ハ即チ其法律ノ制裁ヲ司ルナリ之ヲ形容スレハ政府カ權利者タル場合ニ於テハ恰モ前述セル債主カ自ラ貸借ノ法律ヲ宰スル趣アルヘク又政府カ義務者タル場合ニ於テハ恰モ負債主カ自ラ貸借ノ法律ヲ宰スルノ趣アルヘシ其事ハ異ナリト雖モ理ハ則チ一ナリ知ルヘシ憲法ノ純粹ノ法律ヲラサルコトヲ若シ夫レ一步ヲ進ミ政府モ亦主宰者ヲ兼テサルモノト視ルキハ主權者タル政府ノ外ニ實形ノ主宰者タルヘキ者ノ有ル筈モナ

ケレハ憲法ハ道德的ノ條規タルニ過キサルヘク愈以テ純粹ノ法律ト謂フ可ラサルヘシ

右ハ法學上ノ嚴正論ニシテ人固ヨリ之ヲ記セサル可ラスト雖モ唯其法理ヲ記セハ足りナシ若シ之ニ拘泥シ純粹ノ法律ト稱スヘキ者ノ外ハ一切之ニ法ノ名ヲ下スヘカラストノ極端論ニ趨ラハ大ニ不可ナリ要スルニ憲法ハ法理ニ偏局シテ之ヲ論スヘカラサル者ナリ其ハ其純粹ノ法律ト稱ス可ラサル故ノミニ非ス憲法ノ職分立憲政治ノ眞旨ニ依ルキハ凡ソ憲法ト稱スヘキ者ハ法律の條規ト道德的ノ條規トヨリシテ成立ツモノトス此ニ謂フ道德的ノ條規トハ即チ政治道德ヲ指スナリ而シテ此道德的ノ條規ハ固ヨリ法理論ノ範圍外ニ在リトス是レ法理ニ偏局スルキハ憲

法ノ要義ニ通スルヲ難キ所以ナリ蓋シ比耳義ノ憲法、合衆國ノ憲法ナト、成文律ノ形ニ成サレタル紙憲法ヲ指スルハ其憲法ハ固ヨリ法律の條規ノミニヨリ成立ツト雖モ憲法ハ主權ノ分配及其使用ニ關スル條規ナリト云フ汎キ定義ニ從フキハ法律の條規ノ外ニ道德的ノ條規ヲモ含蓄セサル可ラス此義ニ照ラスキハ比耳義又ハ合衆國ノ憲法ハ之ヲ釋義シテ主權ノ分配及其使用ニ關スル條規ニシテ成文法ト成サレタル者ト云ハサル可ラサルヘシ蓋シ成文憲法ノ國ニテモ其成文法ノ外ニ汎キ意義ニ從テ言ヘハ憲法ト稱スヘキ條規ノ存スルヤ疑ナシ約言スレハ政治ノ外相ハ法律の條規ニ就テ之ヲ觀ルヲ得ヘキモ政治ノ實相ハ獨リ法律的條規ノミナラスシテ又道德的條規ニ就クニ非

レハ之ヲ觀ルヲ得ヘカラサルナリ英國ノ某博士カ北米合衆國ノ政治ヲ熟察セハ其成文憲法ヲ圍繞シテ不文憲法ノ發達シツ、アルヲ發見スヘシト云ヘルモ蓋シ右政治ノ外相、實相ノ理ヲ論据トナスモノナルヘシ譬ヘハ今日吾人相互ノ通常ノ交際ヲ支配スル者ハ決シテ法律ノミニ非ス必ヤ道德ノ之ニ伴フアリ蓋シ實際ニ於テ交際上ノ事物ノ上ニ作用ヲ示メスハ道德ノ方遙ニ法律ノ上ニ在リ故ニ交際ノ圓滑ノ程度ハ道德ノ作用ノ程度ト共ニ高低消長スルモノナリト知ルヘシ例ヘハ爰ニ數十人聚合シテ一會社ヲ組織シ以テ一事業ヲ成サントスルキハ必ヤ社則ヲ定メ相互ノ規約ヲ設クルナラン此社則ハ即チ是レ該會社ノ成文憲法ト云フヘク其會社ノ基礎トシテ大切ナル者タルハ固ヨ

リ言チ俟タヌ去レト社員ニシテ皆、無德義ノ輩ノミナルキ即チ社員相互ノ交際ヲ支配スル道德ノ力微弱ナルキハ其會社ノ永續シテ繁昌スルコトハ決シテ望ム可ラサルヘシ此ノ如キ場合ニ於テハ其社則カ何程嚴明ナルモ會社ノ運命ヲ保持スルノ力ニ乏シク只會社ノ外相ヲシテ嚴然タラシムルヲ得ルノミ其實相ヲシテ外相ト相稱セシムルコト得サルヘシ夫レ會社ノ社則ハ固ヨリ嚴明ナラザル可ラス去レト單ニ嚴明ナル社則ノ存スルヲ見テ其會社ノ繁昌ヲトスルハ迂ト云フヘシ要スルニ會社ノ規則ヲシテ徒法タラシムルト徒法タラシメサルトハ一ニ社員中ニ行ハルヘキ道德力ノ強弱ニ由ル依是視之ハ會社盛衰ノ實相ハ主トシテ道德ニ賴ルコトヲ知ルヘキナリ今夫レ一國ノ憲法モ亦何

ソ此會社ノ社則ト異ナランヤ其法律的條規ハ何程嚴明ナルモ道德的條規ノ之ニ伴フナカリセハ實際政治ノ作用圓滑ナラサルヘシ今此至極ノ意ヲ言ヘハ政治實相ノ進化ハ政治道德ノ發達ニ基因スル者ナリトス此一點ハ實ニ政治ノ祕訣ナルカ故ニ之ヲ詳説スヘシ然リ而シテ法律的憲法ニ對スル道德的憲法ノ大躰ヲ示メスニハフリースマン氏カ英國政躰發達論中ニ言フ所適切簡明ナルカ故ニ左ニ之ヲ抄載ス

「我邦ニ於テ帝室ノ政權、議院ノ特權、國民ノ自由等ハ成文律及ヒ習慣法ノ扶持保護スル所ナリ故ニ帝室ノ權又ハ國民ノ自由ヲ犯スハ是レ法律上ノ犯罪ニシテ其刑罰ヲ加フル所ナリトノ事ハ往昔ノ人モ明白ニ之ヲ認識セリ然レモ往

昔ノ人ハ未タ法律上ノ罪ナラサル憲法上ノ罪アルヲ發見セサリキ彼等ハ未タ國政ヲ司ル宰相ハ法律ニ非サル條規ノ爲メニ法律ト均一ナル檢束ヲ受ケ法律外ノ責任ヲ有スル者ナリトノ理ヲ發見セサリキ彼等ハ未タ議院ハ其立法職務ニテモ司法職務ニテモ非サレド今日ニ於テ實際其最大ノ職務最大ノ權トスル意見表示ノ權(國事ニ關シ是非當否ヲ論シ議決シテ其意見ヲ宣示表明)ヲ有スヘク且其權ハ法律上ノ効果ノ之ニ伴ハサルニモ拘ハラズ壯大強盛ノ勢力ヲ有スルヲ知ラサリキ然リ而シテ今ヤ吾人ハ政治道德ノ全躰ヲ發達スルヲ得タリ此政治道德ハ政治家ノ卒由遵奉スル條規ニシテ成文律ニモ習慣法ニモ視ヘサレモ其重待確守セラレハニ於テハ

マシナカ一タ(大)典ペチション、チフ、ライツ(權利)典等ノ堂々タル成

文律ト優劣アルコトナシ之ヲ概言スレハ我邦ニテハ法律的
 憲法ニ傍フテ道德的憲法發生シタリ此故ニ國人カ我政治
 家ノ措置ヲ批評シテ憲法ニ合フトカ若シクハ憲法ニ背ク
 トカ言フキハ其憲法ニ合フ「憲法ニ背ク」ト云フ語ハ「適法」不
 法ノ意義ヲ以テ之ヲ使用スルニアラサルナリ一例ヲ擧ク
 レハ千八百四十一年ピール氏ノ動議ニ因リ下院ハ當時メ
 ルポーン氏ノ内閣ニ對シテ左ノ決議ヲ爲セリ曰ク現内閣
 ハ下院ノ信用ヲ有セス故ニ尙ホ其職ニ居ルハ憲法ノ精神
 ニ背クモノナリト此決議ノ主旨ノ我邦政治家ノ規矩トセ
 ル所タルコトハ疑ヲ容レヌ去レト今之ヲ法典ニ向テ求メハ
 徒勞ニ屬センノミ抑ピール氏カ右動議ヲ提出セル主意ハ
 敢テ之ニ因テ當時ノ内閣宰相ノ上ニ法律上ノ責罰ヲ加ヘ

シメントニ非スシテ只左ノ一事ヲ表明公示スルニ過キス
 曰ク下院ハ内閣ノ執ル政略ヲ以テ國家ノ爲メニ非計ナリ
 ト信ス故ニ内閣ハ法律ニハ非サルモ尙ホ法律ニ均シキ効
 力ヲ有スル習慣ニ從ヒ其職ヲ辭スヘキモノナリト夫然リ
 故ニ下院ハ唯右決議ヲ爲シ内閣ニ對スル全院ノ意見ヲ吐
 露セルニ止マリテ内閣ヲ辭職セシムル方策ハ一モ之ヲ行
 フコトナク皇帝ニ哀訴スルコトニ無カリキ斯クテハ下院ノ
 決議モ其効ナキカ如クナレモ左ニアラス何トナレハ下院
 右ノ如キ意見ヲ表示スルキハ内閣ハ皇帝ノ正式ノ命令又
 ハ議院ノ正式ノ請求アルヲ俟タヌシテ辭表ヲ提クヘキコ
 政治上ノ例規タレハナリ(但此場合ニ於テハ内閣ハ議院ヲ解散シテ
院カ前者ト同一ノ職ヲ執リ内閣ニ反對スルコトハ内閣ハ復タ此新議院ヲ解散
スルヲ得スト只自ラ辭職スルノ一方アルノミトス此故ニ右メルボーン氏モ一

且議院ヲ解散シ内閣ノ運命ヲ試ミタリシカ新議院モ亦
 氏ニ反對スル決議ヲ爲セルニ由リ氏ハ終ニ辭職セリ
 右下院ノメ
 ン氏内閣ニ對スル決議ハ憲法上ノ法則ノ表示ト做スヘ
 シ然レモ此表示ハ法律の所爲ト做スヘカラス此表示ハ
 實ニ將來宰相及議院ノ爲メニ重要ナル先規ヲ作リタル者
 ナリ去レト法廷ノ司ルヘキ法則ヲ作リタルニハ非サルナ
 リ

右抄載スルフリーマン氏ノ言中ヨリシテ政治道德ノ概質
 ナ知ルニ足ラン此政治道德ハ憲法ノ道德的條規又ハ道德
 的憲法ナド異名ヲ附スルモ可ナリ今英國政體ニ就キ數例
 ナ舉ケ以テ憲法ノ法律の條規ト道德的條規トノ別ヲ彰明
 スヘシ例ヘハ左ノ如キ條規ハ法律の條規トス、(一)法律ノ定
 ムル方法ニ依ルニ非レハ人ノ身體自由ヲ奪ヒ又ハ其財產

ヲ奪フヘカラス、(二)國會ノ承諾ナクシテ人民ニ租稅ヲ課ス
 ヘカラス、(三)皇帝ハ獨斷シテ法律ヲ廢止又ハ停止スルヲ得
 ス、此等ハ法廷ノ認ムル所ナルカ故ニ法律的ノ條規トス假
 例ハ國會ノ承諾ヲ經ス租稅ヲ課スルキハ其處分ハ不法ニ
 シテ之ニ干レル者ハ法律上ノ罰ヲ受クヘシ又左ノ如キ者
 ハ道德的條規トス、(一)皇帝ハ下院ノ信用ヲ有スル者ヲシテ
 内閣ヲ組織セシム、(二)内閣宰相ハ公益ニ關スル法案ヲ起草
 シ議院ヲシテ之ヲ議定セシムルノ任アリ、(三)議院ノ信用ヲ
 失ヘル内閣ハ辭職スヘシ此等ハ法廷ノ認メサル所ナルカ
 故ニ道德的條規ニ係ル此故ニ假設ハ皇帝カ議院ノ信用ナ
 キ者ヲシテ内閣ヲ組織セシムルモ決シテ之ヲ指シテ不法
 トナスヲ得ス其内閣ノ施設ハ十分ナル効力ヲ有スヘキナ

リ又議院ノ信用ヲ失ヒタル内閣カ其職ヲ辭セサレハ迎其
 罪ヲ法律ニ問フコトナルヘシ則チ議院ノ信用ヲ失ヘル内
 閣ノ施設ハ議院ノ信用ヲ有スル内閣ノ施設ト其法律上ノ
 効力ヲ同フスヘキナリ若シ夫レ内閣ニシテ法律の條規ヲ
 犯スキ假設ハ猥リニ現行法ヲ停止スル如キ處分ヲ施スキ
 ハ其處分ハ法律上ノ効力ナキノミナラス内閣ハ却テ其罪
 ヲ法律ニ問ハルヘシ此場合ニ於テハ何程議院ノ信用ヲ占
 ムル内閣ト雖モ其不法ノ處分ヲシテ適法ナラシメ其法律
 上ノ罪ヲ免カル、ト能ハサルヘシ
 右ノ諸例ハ以テ憲法ノ法律の條規ト道德的の條規トノ別ヲ
 示メスニ足ラン今一步ヲ進ミテ右二者即チ憲法全躰ノ作
 用ヲ説明スルニ夫ノ内閣責任ノ大義ノ如キハ實ニ帝室安

榮ノ基礎ニシテ法律の條規ノ點ト道德的の條規ノ點トノ二
 樣ノ點ヨリ之ヲ視ルヲ要ス蓋シ視ル所ノ點ノ法律のタル
 ト道德的のタルトニ因テ内閣責任ノ性質區域大ニ異ナルナ
 リ先ツ法律的の點ヨリシテ之ヲ視ヨ内閣宰相ハ其補佐ス
 ル所ノ皇帝ノ不法ノ行爲ニ對シ一切之カ責ニ任スヘキモ
 ノトス而シテ此責任ハ通常法廷ノ職權又ハ巴力門的ノ彈劾
 ニ關スル權ヲ以テ處罰スヘキ事柄ニ止マリテ其外ニ及ハ
 サルナリ是レ内閣法律上ノ責任トス然ルニ道德的の點ヨ
 リ之ヲ視ルキハ宰相ハ其國政上ノ施設ニ付キ獨リ適法不
 適法ノ點ヨリノミナラス又汎シ得失利害ノ點ヨリシテ議
 院ノ爲メニ評論セラレ議院カ内閣批難ノ決議ヲ爲スキハ
 其職ヲ辭セサルヘカラス又内閣提出ノ重要法案ヲ否決セ

ラル、キハ内閣ハ之ヲ以テ批難ノ決議ト同様ノ効力ヲ有
スルモノト認メ進退ヲ決セサル可ラストス是レ内閣道德
上ノ責任トス英國政治ノ祕訣トスル所ハ實ニ此道德上ノ
内閣責任ニ在テ存ス蓋シ英人カ今日内閣責任ト云フキハ
必スヤ主トシテ此道德上責任ヲ指スモノナリ此責任ノ道
德的タルニモ拘ハラス其効力ニ於テハ法律ノ定ムル所ト
均シク加之往々法律ノ定ムル所ヲ厭倒スルコアリ皇帝ハ
法律上ニ於テ法案否認ノ權ヲ有スレモ現今ノ道德的ノ條
規ハ之ヲ制限シ皇帝ハ常ニ法案ヲ可認スルヲ慣行トスル
如キハ即著明ノ例ナリ其他英國政體ヲ講究スレハ理論ト
實際ト相違スル事多ク其相違スルコカ即チ政治ノ美ナル
實相ヲ致ス所以ナルヲ發見ス而シテ此現象ハ皆道德的條規

ノ法律の條規ヲ厭倒スルニ職由セスンハ非サルナリ此ニ
至テ余ハ試ニ讀者ニ問ハン道德的條規ノ法律の條規ト並
行シ往々之ヲ壓倒スルハ其レ將々何ニ由ルトカスル社會
人衆ノ道德心ニ非スシテ何ソヤ讀者若シ上來縷陳セシ所
ヲ熟讀細考セハ成文法ノ外ニ檢束アルヲ知ラサル人民ハ
眞ノ自由ヲ享クル能ハストノローゲル氏ノ名言ヲ會得シ
憲法論壇ニ一ノ新世界ヲ發見スルノ思アルヘシ
人或ハ曰ハントス汝カ如ク英國ノ事例ヲ假リテ論スルキ
ハ道德的條規ハ憲法ニ必須ナルヘキモ汎ク之ヲ論スルキ
ハ未ダ必スシモ然ラサルヘシ何トナレハ英國ニテ道德的
條規トシテ行ハル、所ノ者ハ之ヲ成文律ト爲シ得ヘク則
チ政治ノ真相ニ關スル重要ノ條規ハ必ス道德的ヲラサル

可ラサルノ理ナケレハナリト此言固トニ然リ然リト雖モ
 余ハ疑フ凡ソ政治ニ關スル重要ノ條規ハ悉皆之ヲ網羅シ
 テ成文律ト爲スヲ得ヘキヤヲ縱令一步ヲ讓リテ之ヲ爲
 シ得ヘシトスルモ尙ホ成文律ヲラシムルヨリハ寧ロ道德
 的條規ヲラシムル方利便ナル者多カルヘシ向キニ引喻セ
 ル如ク通常吾人ノ交際ニ於テモ單ニ法律的條規ニ依頼ス
 ルヲ得ス必スヤ道德的條規ニ依頼セサルヘカラス而シテ
 其道德的條規中ニハ何程重要ニシテ且確明ナル者アルモ
 之ヲ法律ト爲ス容カラサル者アルヲハ多言ヲ須タスシテ
 人ノ熟知スル所ナラン政治ニ於テモ亦此ノ如キノミ若シ
 單ニ法律ノミヲ以テ之ヲ支配セハ政治上ノ事物ヲシテ圓
 滑利便ナラシメント欲スルモ決シテ得ヘカラサルヲ猶ホ

單ニ法律ヲ恃ミテ吾人ノ交際ヲ圓滑利便ナラシムル能ハ
 サルカ如シ道德的條規ニシテ強テ法律ニ變造セントスレ
 ハ爲シ得ヘキ者スヲ尙ホ之ヲ容サ、ル者アル右ノ如シ況
 ヤ何程重要ナルモ事實之ヲ法律ニ變造スヘカラス者ニ
 於テヤ例ヘハ英國ニ於テ時ノ内閣カ下院ノ信用ヲ有ス
 ルヤ否、何カナル場合ニ於テ内閣ハ下院ヲ解散シ得ルヤ、下
 院ノ首領(セ、リ、イ、ダ、ー、ナ、フ、セ、ハ、ウ、ス、ナ、フ、コ、ム、モ、ス、ト、稱、ス、政、ノ職分ハ何カ
 ナル者ナルヤ、反對黨(ナ、ツ、ホ、シ、ン、即、チ、政、府、)ハ何カニ措置スヘ
 キヤ等皆是レ政治作用上至重要ノ事項ニシテ實際政治家
 ノ規矩トスル所固ヨリ之アリ去レト今其規矩トスル所ヲ
 法文ニ明記スルヲハ決シテ能ハサルヘシ但シ余ハ敢テ英
 國ノ政躰ニ心醉シ成文律ヲ輕視スル者ニ非ス故ニ政治ニ

關スル重要ノ條規ハ包羅シ得ヘキ限之ヲ包羅シ明記シ得ヘキ限リ之ヲ明記シ以テ之ヲ一目瞭然タル成文律ノ躰裁ニ編制スルハ固ヨリ好マシキヲナリトス然レモ吾人ハ成文律ヲ偏重スルノ餘遂ニ道德的條規ノ政治實相ニ必須缺ク可ラサル者タルヲ忘ル可ラサルモノナリ英國ノ政躰ハ千六百八十八年ノ革命爾來一新セル者ト云フヘシ而其今日一新セル所ニ關スル要則ハ道德的條規ヨリ成立ツ者大部分ヲ占ムルヲ視ル則チ知ルヘシ政治實相ノ進化ハ政治道德ノ發達ニ基因スルヲチ上來縷説セル所ヲ約スルニ憲法ノ眞旨ニ由レハ憲法ハ政治ニ關スル法律的條規及ヒ道德的條規ノ集合躰ノ總稱ニシテ而シテ政治ヲシテ能ク時勢ニ適合セシメ主治者被治者

ノ關係ヲシテ圓滑和便ナラシムル者ハ道德的條規(即チ政治)ノ作用重キニ居ルモノトス右ノ旨趣ニ由テ之ヲ視レハ政治道德ハ憲法ノ基礎立憲政治ノ骨髓ト謂フヘキ者タリ今此言ノ何レノ立憲政躰ニモ普通タル所以ヲ證明スヘシ英國ノ法律大博士ダイセイ氏ハ憲法ヲ類別シテ軟質憲法、硬質憲法ノ二トナセリ軟質ハ英語ニテ「フレキシブル」硬質ハ英語ニテ「リジッド」ノ義ナリ此名稱新規ナレモ英國ノ如ク不文憲法ヲ有スル政躰ト佛米等ノ如ク成文憲法ヲ有スル政躰トノ別ヲ示スニハ至便ナリトス右ダイセイ氏ノ言ニ從ヘハ立法部カ何カナル法律ニテモ自在ニ之ヲ變更スヘキ法律上ノ權力ヲ有スル場合ニ於テ

ハ其憲法ヲ軟質憲法トス英國ノ立法部タル巴力門的(上皇帝
下院ノ三者
ヨリ成ル)ハ右ノ如キ法律上ノ權力ヲ有ス故ニ假設ヘハ巴力門的カ夫ノ「マクナカータ」等ノ如キ重要ナル法典ニ背馳スル法律ヲ制定スルコトアルモ法律上ニ於テハ毫モ其新法ノ効力ヲ難スルコトヲ得サルヘシ此故ニ英國ニテ某々ノ法律ヲ指シテ特ニ之ヲ憲法ト呼フハ其法律カ國家ノ組織ニ重要ノ關係ヲ有スルコトヲ表示スル迄ニシテ其法律ノ法律上ニ於テ他ノ法律ニ異ナル所アルコトヲ謂フニハ非サルナリ乃チ憲法ト稱セラル、法律モ自餘ノ法律モ立法部ノ爲メニ存廢變更セラル、ノ一點ニ於テハ毫髮モ其間ニ差別アルコトナシ然リ而シテ憲法ト稱セラル、部分ノ法律カ尋常ノ法律ノ如ク同一ノ方法ニ依テ變更セラレサル場合

ニ於テハ其憲法ヲ硬質憲法トス佛蘭西又ハ比耳義ノ憲法ノ如キハ之ヲ硬質トス何トナレハ其立法部ハ其通常ノ資格ヲ以テ憲法ヲ變更スルノ權ヲ有セサレハナリ硬質憲法ハ之ヲ軟質憲法ニ比較スレハ其實牀明確ニシテ一目瞭然彼ノ軟質憲法ノ茫乎トシテ其畔岸ヲ知ルヘカラサル如キ趣アルコトナシ故ニ硬質憲法ハ之ヲ確定憲法、軟質憲法ハ之ヲ不定憲法ト云フモ可ナラン是レ即チ英國ニハ憲法ナシナド云フ説ノ存スル所以ナルヘシ夫レ軟質憲法ノ場合ニ於テハ立法部、法律上ノ主權者タルカ故ニ國人ノ貴重スル法則ニ背馳スル法律ヲ制定セサラシムルハ只輿論即チ政治道德ニ依頼スルノ一方アルノミナルコトハ多辯ヲ要セサルヘシ然ラハ硬質憲法ノ場合ニ於

テハ果シテ何如即チ其確定ナル所以何如ト云フニ先ツ佛
 國ノ憲法ヲ按スルニ其憲法ニ於テハ明確ニ條規ヲ設ケテ
 立法部ノ立法權ヲ制限ス去レト此制限條規ハ果シテ眞ノ
 法律ナリヤト云ヘハ決シテ然ラサルナリ何トナレハ此條
 規ハ結局ニ於テ法廷ノ司ル所タラサレハナリ蓋シ立法部
 カ憲法ニ背馳スル法律ヲ制定スルコアルモ之ヲ無効ト宣
 告スヘキ法律上ノ機關ヲ設ケサルナリ此故ニ佛國ノ憲法
 ハ到底政治道德ノ條規ヲ明陳確言セル者ニ過キスシテ其
 制裁ヲ輿論ニ得ル者ト云フヘキナリ又比耳義ノ憲法ヲ按
 スルニ之レ亦佛ト同シク憲法ニ背馳スル法律ヲ無効トス
 ヘキ方法ヲ設クルコトナシ尤比國ノ公法家ハ法廷ハ憲法ノ
 條款ニ牴觸スル法律ヲ無効トシテ處分ス可キモノナリト

ノ説ヲ持ス去レト憲法制定爾來五十餘年ノ今ニ至ル迄法
 廷カ憲法ニ照ラシテ法律ノ効力ヲ判定セルコトハ未ダ曾テ
 其例ヲ見サルナリ此事タルヤ一方ニ於テハ比國ノ立法部
 カ常ニ能ク憲法ヲ尊敬シ自ラ立法權ノ妄用ヲ抑制セル美
 徳ヲ示シ併セテ成文憲法ノ効能ノ英國政治家ノ考フル如
 ク微少タラサルヲ證スルト同時ニ他ノ一方ニ於テハ其憲
 法ハ到底政治道德タルヲ免カレサルコト明示スル者ナリ
 右述フル主旨ハ又之ヲ佛比ノ外其他ノ歐洲諸國ノ憲法ニ
 推及スルヲ得ヘシ然リ而シテ北米合衆國ノ憲法ヲ視ル
 ニ該國ニ於テハ法廷憲法ニ照ラシテ國會ノ發スル法律ノ
 効力ヲ判定スルノ權ヲ有ス故ニ其憲法ハ眞ノ法律ト稱ス
 ルモ可ナルカ如シ然リト雖モ吾人ハ右ノ制ヨリシテ輒カ

ニ米國ノ法廷ハ憲法ヲ司ル主權者ナリト速了スヘカラサ
 ルモノナリ抑法廷カ憲法ニ照ラシテ法律ノ効ノ有無ヲ判
 定スルキハ其判定ノ効力ハ何カナル區域ヲ有スルヤノ點
 ニ付キテハ種々ノ論モアレト法廷ノ判定ハ其効力其格段
 ナル詞訟事件ニ限ルモノニシテ立法部又ハ行政部ニ對シ
 確定裁判ノ効力ヲ有セサルモノナリトスルヲ正當ノ見解
 トス左ニ抄載スル故大統領リンコルン氏及有名ナル合衆
 國史ノ著者タル碩學ハンシロフト氏ノ說能ク此義ヲ明瞭
 ナラシムルニ足ルヘシ
 リンコルン氏云ク憲法上ノ疑問ハ最上等法院ノ審判ス
 ヘキ所ニ係リ其審判ハ詞訟關係人ヲ束縛スル効力ヲ有
 スルトノ事ハ余之ヲ難セサルノミナラス自餘ノ政府ノ

部局ニ於テモ同様ノ場合ニ於テハ該法院ノ審判ヲ重待
 スヘキモノタルヲ信ス然リト雖モ全國民ノ利害ニ關ス
 ル重要問題カ最上等法院ノ審判ニ因テ確定終結セラ
 ルモノト做スキハ是レ國民ハ其主權ヲ舉テ法院ニ附ス
 ルニ等シカルヘシ豈其レ此ノ如キ理アラノヤ
 ハンシロフト氏云ク法廷ノ裁判ハ詞訟關係人ニ對シテ
 ハ終結ノ効力ヲ有ス去レト憲法ノ解釋トシテハ大統領
 又ハ立法部ヲ束縛スルヲ得ス蓋シ憲法上ノ問題ニ關
 スル法廷ノ裁判ハ行政部立法部等ニ對シ確定裁判ノ力
 ヲ有セサル者ナリ夫然リ故ニ法廷ノ裁判ニシテ勢力ヲ
 有セントスルニハ道理ニ適合セサル可ラス道理ニ適合
 スルキハ不偏不黨ナル國民ノ輿論ニ應認セラレヘシ此

輿論ハ憲法ニ背馳スル立法部ノ法律ヲ無効トスルノミ
 ナラス又憲法ニ背馳スル司法部ノ意見ヲモ無効トス
 右リシコルン氏ノ説及ハンクローフト氏ノ説ハ共ニ皆米國
 ニ於テモ法廷カ憲法ノ主宰者タラサルヲ示スモノナリ之
 ナ釋言スレハ米國政府ノ部局ハ其何タルヲ問ハス孰レモ
 憲法ニ就キ確定終局ノ判決ヲ爲シ以テ他部局ヲ束縛スル
 ノ權ヲ有スルコトナシ夫ノウールシー氏ノ言ノ如ク立法部、
 行政部、司法部ノ何レカ主權ヲ有スルト云フコトヲ得サルナ
 リ此故ニ何等ノ問題ニテモ之カ確定終局ノ判決ハ種々ノ
 見解種々ノ議論ヲ戰ハスヨリシテ漸々發顯スル眞理ニ向
 テ之ヲ求メサル可ラス夫ノハンクローフト氏ノ法廷ノ判決
 ニシテ他ヲ束縛スヘキ効力ヲ有スルニハ輿論ノ扶助ヲ要

ストノ言ハ以テ之ヲ他ノ部局ノ行爲ニモ適應スヘシ近時
 米國ノ法家ウールリヤム、メイグス氏ハ此主義ヲ執リ今日世俗
 間ニ流傳スル「法廷ノ憲法ニ關スル判決ハ政府全部ヲ束縛
 スル者ナリ」トノ謬説ヲ排シテ論スラク種々ノ論説ヲ攻究
 シテ眞理ヲ發見シ其眞理ニ依テ憲法上ノ問題ヲ確定スル
 ノ主義ハ獨リ我邦ノミナラス又何レノ邦ニテモ政治發達
 ノ秘訣トスル所ナリ彼ノ謬説ノ如キハ何レノ邦ニモ其實
 例ヲ視ス實ニ政治發達ノ事實及眞理ニ全然相反ス夫レ練
 磨ノ功勞ヲ積ミ以テ漸次事物ノ發達ヲ計ルハ憲法ノ成文
 律タルト不文律タルトヲ問ハス其正當ナル發達ニ必要ナ
 ル原則ナリトス今世俗間ニ行ハル、謬説ハ此原則ヲ滅却
 スル者ト云フヘシ右メイグス氏ノ論簡約ニシテ能ク米國

憲法ノ性質ヲ指示セルモノナリ此等ニ就テ察スレハ米國ノ法廷モ尙且ツ憲法ノ主宰者ヲササルヤ明カナリバンク
 ロフト氏云ハスヤ輿論ハ憲法ニ背馳スル立法部ノ法律ヲ無効トス輿論ハ憲法ニ背馳スル司法部ノ意見ヲ無効トスト則チ知ル米國憲法ノ主宰者ハ輿論ナルヲ然リ而ソ輿論ハ政治道德ノ由テ以テ成立スル所ナリ則チ知ル米國ノ憲法モ亦結局政治道德ヲ以テ其本體トナスヲ
 既ニ開説スル所ニ由リ政治道德ハ憲法ノ基礎立憲政治ノ骨髓ナリトノ理カ何レノ立憲政體ニモ普通タル所以ヲ讀者ニ向テ證明シ得タリト信ス讀者乞フ反覆熟考セヨ
 憲法ノ基礎立憲政治ノ骨髓ハ政治道德ニシテ而ソ其政治道德ノ由テ以テ立ツ所ノ者ハ輿論ナリトス夫然リ故ニ立

憲ノ國ニ於テ其政治實相ノ良美ヲ冀ハ、必ス先ツ輿論ヲシテ高明ナラシメサル可テサルナリ換言スレハ高明ナル輿論ヲ發達セシムルノ事ハ政治ノ目的ニシテ又其基礎ナリトス「國政ハ人民ノ光ノ返照ナリ」ト云フモ蓋シ此理ニ過キサルヘシ然リ而ソ輿論ヲシテ高明ナラシムルニハ民人ナシテ公事ニ關シ盛ニ其言論行爲ヲ耕サシムルノ道ヲ開キ以テ輿論ヲ組成スルヲ要ス若シ夫レ此道ナキハ社會力ノ本骸ハ成形ノ輿論ヲラスシテ蒙昧タル感情ニ過キサルヘシ形ナキ蒙昧タル感情ハ固ヨリ正常ノ法ニ依テ自働スルノ力ナク只非常ノ場合ニ於テ國亂ヲ惹起スルニ至ラ
 ン黄鞏論ニ曰ク言路者國家之命脉也言路之通塞國家之治亂係焉ト此言ヤ平素蒙昧タル感情ヲ誘發スルノ道ヲ設ク

八六
ルノ國家ノ安寧ニ肝要タル所以ヲ示ス名言ト謂フヘシ若
シ夫レ民人ヲシテ公事ニ關シ言論行爲ヲ耕ヤサシムルノ
道ヲ滑ニセハ民人ノ政治智識自ラ發達シ輿論ノ品質自ラ
高明ニ趣クヘシ輿論ノ品質ニシテ高明ナラハ其返照タル
國政ノ良美ナラサルヲ欲スルモ豈其レ得ヘケンヤ是レ立
憲政治ノ極旨ナリ

憲法要義終

明治二十年十二月十五日版權免許

定價金三十五錢

明治二十一年一月 日出版

東京府平民
合川正道
著者兼
出版人

京橋區彌左衛門町拾五番地



明治二十年十二月三十日刷行

築地活版製造所印刷部

京橋區築地貳丁目拾七番地

25

496

